

## 地質標本館 開館25周年記念 館内で行われた体験イベント

吉田 朋 弘<sup>1)</sup>

2005年10月29日(土), 地質標本館では開館25周年記念イベントとして, これまでに行われてきた館内体験イベントの中から, 「本物そっくりの化石レプリカをつくろう」「石を割ってみよう」「砂を鳴らそう」「砂の芸術(砂変幻)」の4つを同時開催し, 200名を超える来館者で賑わいました。

当日は, 皆さん開館時間より大夫早めにお越しになり, 標本館入口で設営している「石を割ってみよう」コーナーを横目に, 開館はまだかと待ちわびていました(写真1)。もう一つのイベント「野外地質観察会」にも多くの方が参加して下さいました(写真2)。なお, 「野外地質観察会」については, 後にあります田中美穂さんほかの記事にて紹介しています。

### 本物そっくりの化石レプリカをつくろう

今回は, 過去のイベントで人気のあったアンモナイト類と三葉虫のレプリカを作成しました。この後の, 井川敏恵さんほかの記事で詳しく紹介しています。



写真1 開館を待つ来場者。

### 「石を割ってみよう」

子どもは, 普段大人がやってはいけないという事をやるのが好きようです。この石割り体験コーナーもその一つではないでしょうか。もちろん, 子どもがハンマーを持ってその辺の石を割っていたりしたら, 大人は厳しく注意しなければなりません。私たちは, 楽しいから石を割らせてるのではなく, 石にはいろんな種類・性質があるということを「学ぶ」ではなく「感じ」て欲しいのです。「簡単に割れた」「なかなか割れない」と感じ, その後に「なぜなんだろう」と不思議に思ってくれたらうれしいです(写真3)。

割った石は, 館内で鑑定を行いました。自分で割った石がどんな石だったのか分かってくれたかな(写真4)。

### 鳴り砂体験

砂の不思議を体験してもらうために, 「鳴り砂」「か



写真2 野外地質観察会へ出発。

1) 産総研 地質標本館

キーワード: 25周年, 化石, レプリカ, 石割り, 砂, 鳴り砂, 砂変幻



写真3 石割り風景1.



写真5 液ジョッカーを体験.



写真4 割った石を鑑定.



写真6 砂変幻製作実演.

える砂」「液ジョッカー」を体験してもらいました(写真5)。また、日本各地の砂を顕微鏡で観察したり、サンプルをプレゼントしました。

### 「砂の芸術(砂変幻)」

今回、砂変幻の制作者である有田正史氏(元地質調査所、現日鉄鉱コンサルタント株式会社)に、製作実演(写真6)をお願いしました。完成した砂変幻しか見たことのない子供達も、製作している有田氏の姿に興味津々で、数ある砂変幻よりも、実演に興味を抱

いてくれたようです。

いろいろ質問している大人の方も多かったようです。家に帰ってからお子さんに作ってくれるようせがまれませんでしたが。

今回、地質標本館開館25周年記念イベントとして、これだけのイベントを開催するために、多くの方に参加・お手伝いをして頂きました。お疲れさまでした。

YOSHIDA Tomohiro (2006) : Basic Geological experiments for children in the geological Museum 25<sup>th</sup> anniversary event.

<受付：2006年1月6日>